

東京医科歯科大学医学部附属病院
クオリティ・マネジメント・センター(QMC)が目指すもの

現在の課題と背景

医療技術の高度化、
国民意識の変化



医療の質の確保が
重要！

ところが～



大学病院等では、医
療の質の評価が不
十分

大学病院の手術、麻
酔関連死亡事故！

- 当院にも当てはまる課題
- 医療の質の評価が不十分だと、**潜在的なリスク**を抱えているといえる
- 同時に、収益の確保など、**経営の質**の改善も重要

当院の置かれている状況

ID04手術技術度DとEの手術件数

全国No8

☆当院が全国10位以内☆
全手術件数、緊急手術件数、外来
化学療法件数、新規外来患者数等

「国立大学病院評価指標」より

当院の置かれている状況

ID29在院日数の指標

全国No5



「国立大学病院評価指標」より

当院の置かれている状況

- パフォーマンスの視点では、全国トップクラスの大学病院
- みんな、よく頑張っているのは、間違えないようです

当院の置かれている状況

ID30患者構成の指標

全国No27



「国立大学病院評価指標」より

当院の置かれている状況

ID09脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

全国No**



「国立大学病院評価指標」より

当院の置かれている状況



ID10急性心筋梗塞患者における入院当日
もしくは翌日のアスピリン投与率

全国No**



「国立大学病院評価指標」より

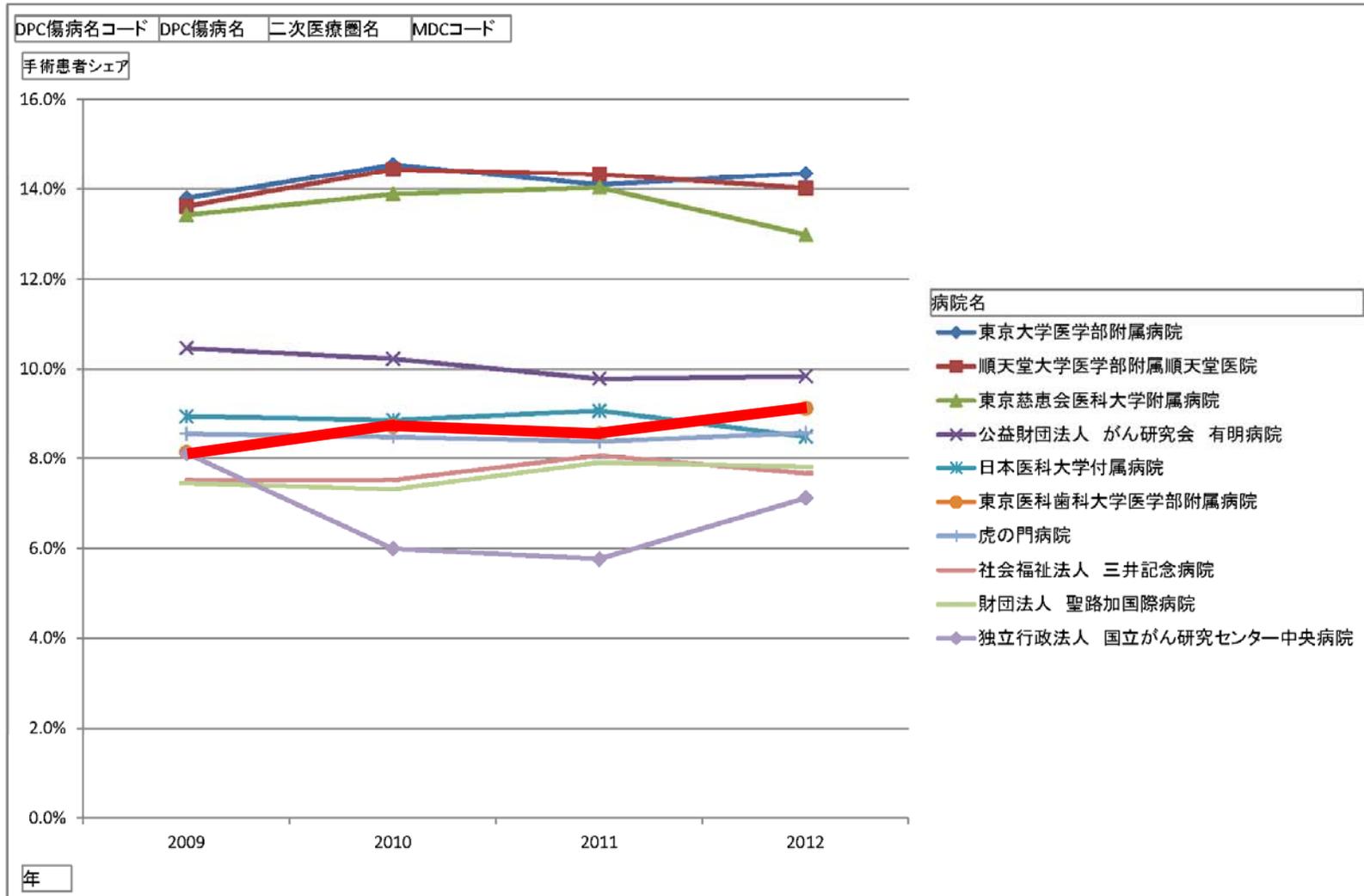
当院の置かれている状況

- 患者構成の指標が低いのは？
 - 大学病院らしい患者が減っているのではないか
 - 医療機関係数が減り、収入が減ってしまう可能性がある
- 臨床指標が低いのは？
 - 「標準的な治療」が提供されていないかもしれない
 - 将来、このような数値が公表されるようになると、大変

当院の置かれている状況

手術患者東京東部地域内シェア

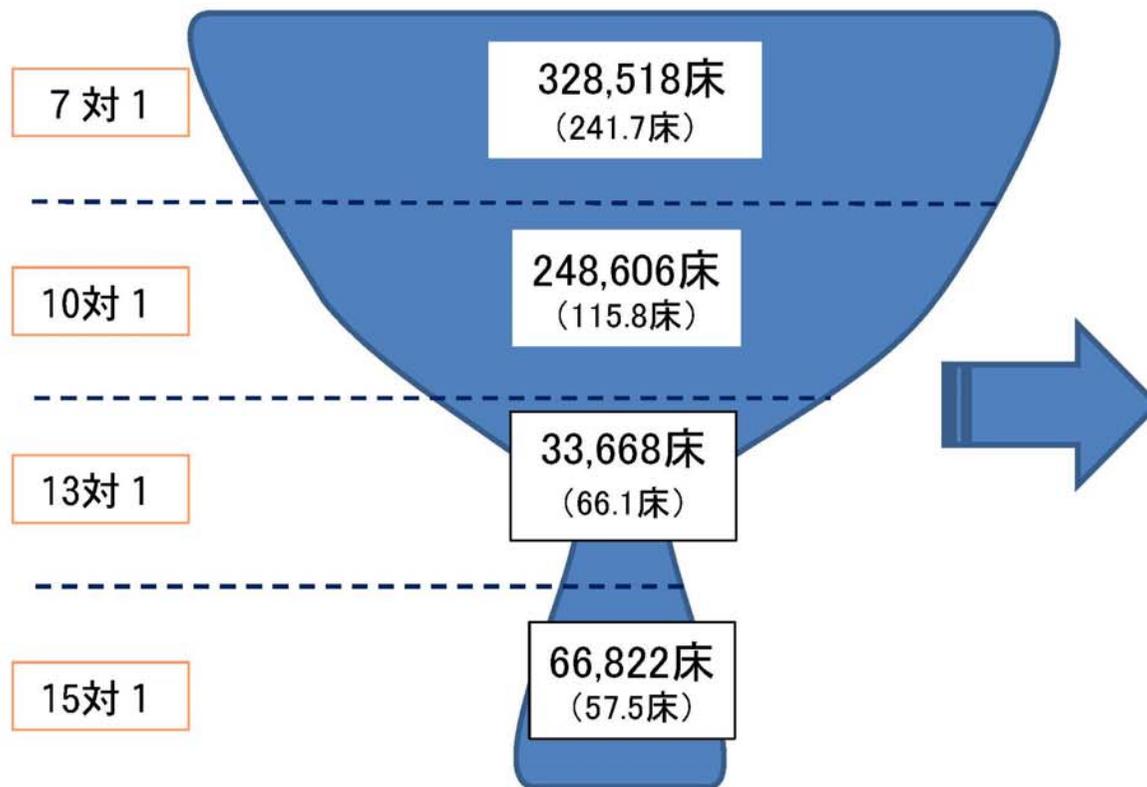
全疾患



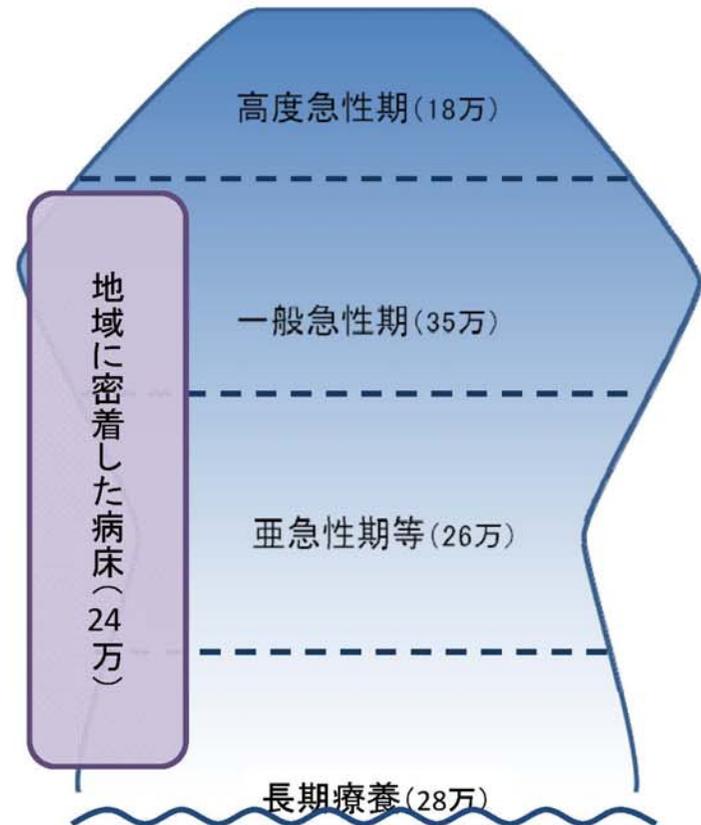
現在の一般病棟入院基本料の病床数

【一般病棟入院基本料】

<2010(H22)年の病床数>



<2025(H37)年のイメージ>



保険局医療課調べ

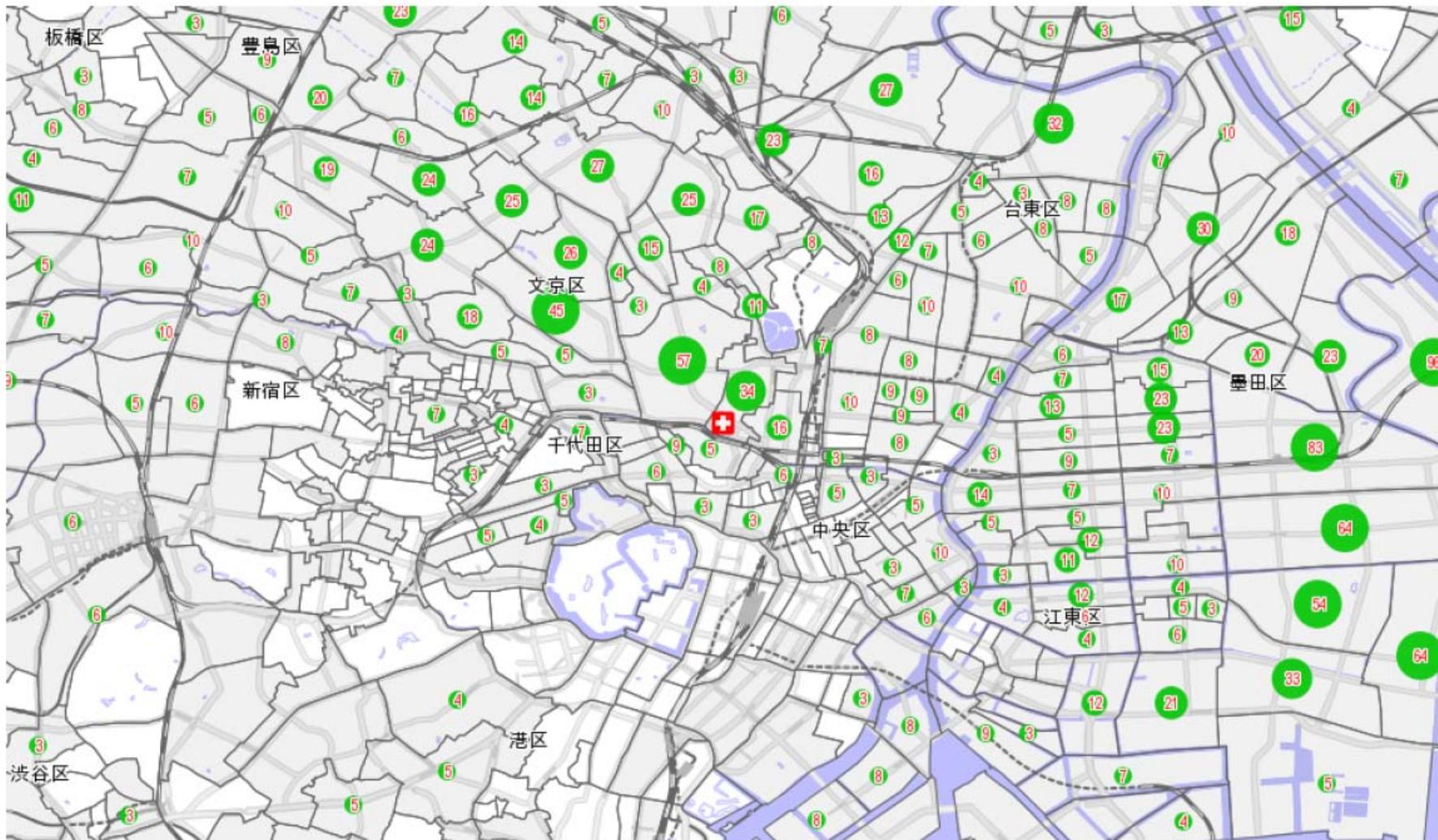
(括弧内は1医療機関あたり平均病床数)

- 届出医療機関数で見ると10対1入院基本料が最も多いが、病床数で見ると7対1入院基本料が最も多く、2025年に向けた医療機能の再編の方向性とは形が異なっている。

当院の置かれている状況

医療機関名：東京医科歯科大学医学部附属病院

MDC：00全MDC



当院の置かれている状況



ID26新規外来患者数

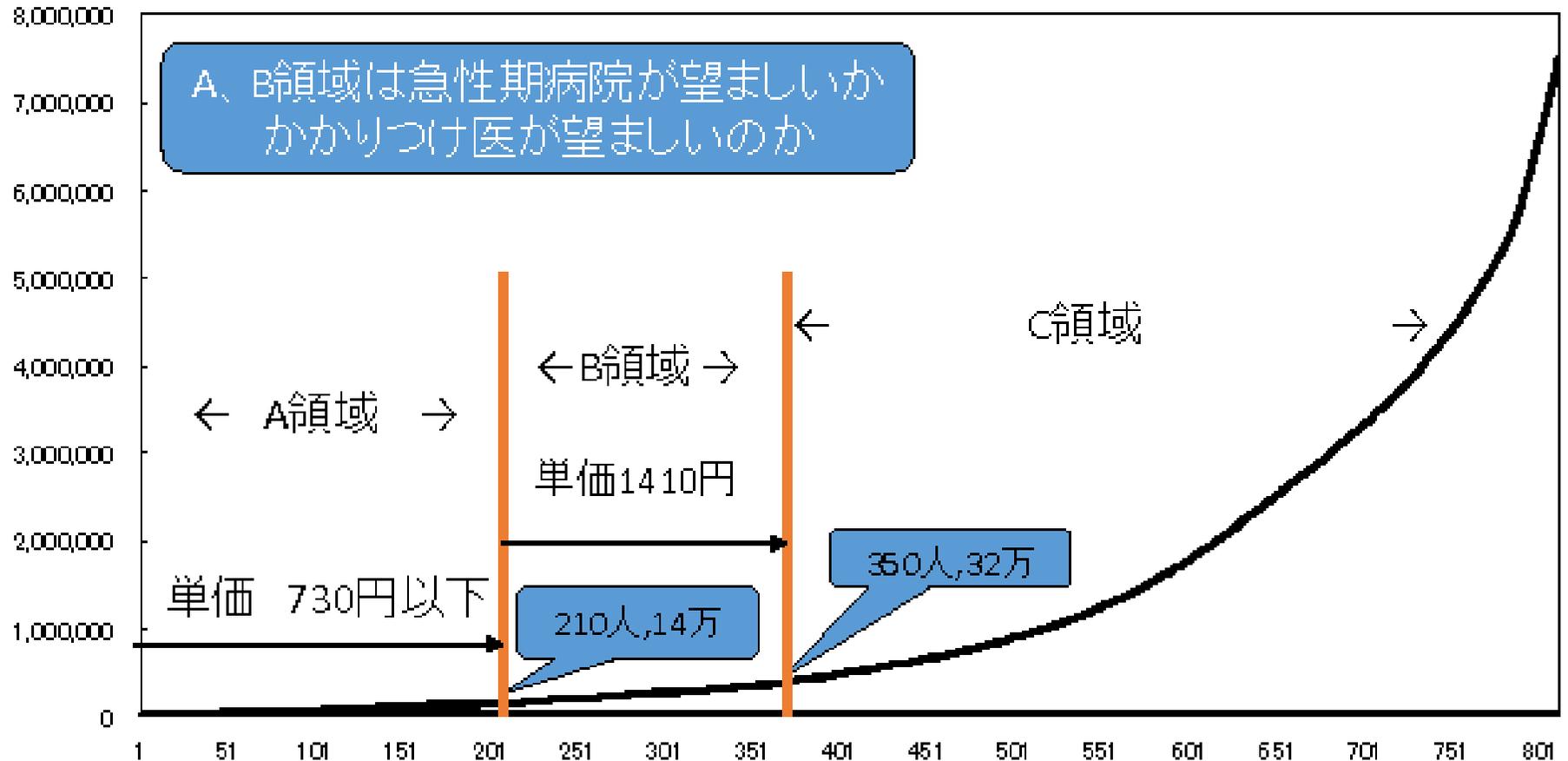
全国No2



「国立大学病院評価指標」より

外来「ナイアガラ分析」の例

(月間稼働額)



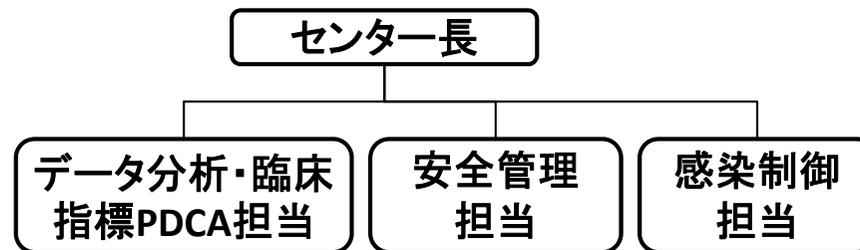
当院の置かれている状況

- 世界一の病院激戦区で戦っている
 - 今後も、大学病院らしい患者を確保できるのか
 - 病床機能分化に際し、「高度急性期」をどこまで確保できるか
- 当院の診療圏は「東京都東部」
 - 今後、高齢化が急速に進む地域
 - 疾病構造が、脳血管疾患、肺炎等に大きく変わっていく可能性
- 外来患者が多いことは良いこと？
 - 「大学病院は入院医療に特化せよ」
 - 外来患者が減ったとき、入院患者を確保できる？

附属病院 クオリティ・マネジメント・センター

院内の診療関連情報を集約し、医療の質保証と
病院マネジメント改革のためのエビデンスを提供

- ・院内各部門よりデータを収集し、分析
- ・各診療科と連携して臨床指標を活用した医療の質保証のPDCAを実施
- ・医療安全・感染制御部門と連携しデータ分析に基づくPDCAの実施



医療の質保証・
安全管理・感染
制御のPDCA



各診療科

安全管理
対策室

感染
制御部

クオリティ・マネジメント・センターの組織体制

医療担当理事

病院長

クオリティ・マネジメント・センター

クオリティ・マネジメント・センター長

データ分析・
臨床指標PDCA担当

副センター長 特任講師
(看護師)
特任職員 (看護師)
事務担当

安全管理担当

特任講師
(医師)

感染制御担当

特任職員
(薬剤師)

医学部附属病院A棟5階
(安全管理対策室向かい)

クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

診療の質の視点からの評価

1. 医療の質・安全・感染の臨床指標

- 診療科別・部門別の集計、レポート作成

2. パスの管理と分析

- データに基づくパスの設計支援
- パス運用状況調査
- バリエーション分析と評価

3. 診療アウトカム分析

- 死亡症例調査（術後死亡等）
- 術後在院日数分析（診療科別、術式別等）
- 術後再入院率
- 手術患者の輸血使用に関する分析
- 術後感染に関する分析

クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

経営の質の視点からの評価

1. 医療連携の評価

- 前方連携と入院率、手術率の評価
- 後方連携と在院日数の評価
- 地域連携パスの評価

2. 外来診療の効率性の評価

- 外来機能分析(検査、注射、手術等)
- 外来→入院関連分析
- 医師の外来診療負担の分析

クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

関連部門との連携

1. 安全管理対策

- 医療安全関係の指標の計測
- インシデント・レポート分析
- 診療記録分析
- 安全管理対策室との業務連携

2. 感染制御

- 抗菌薬の使用状況に関する分析
- 診療記録分析
- 感染制御部との業務連携

クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

大学事業戦略

病院事業への対応

- JCI(Joint Commission International)認証等の機能評価対応
- 事業戦略立案補助

クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

P
D
C
A
医療クオリティ・
マネージャー養成事業

実践的な教材の提供

- 臨床指標、PDCA実践などの経験から、生きた教材を作成
- 演習で利用できる医療データの提供

医療の質向上の現場の取組を体験

- 医療生データの分析による質の評価
- 患者マーケティングなどの経営分析
- PDCAの実践の体験

最後に

- 貴重な医療データベースが構築されますので、その活用の、ご提案、ご意見を、お待ちしております。

スタッフ一丸となって、当院が『心と身体(からだ)を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めて』いけるよう、全力を尽くしますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。